



# 近代日本を支えた明治丸 燈台巡廻を通じて

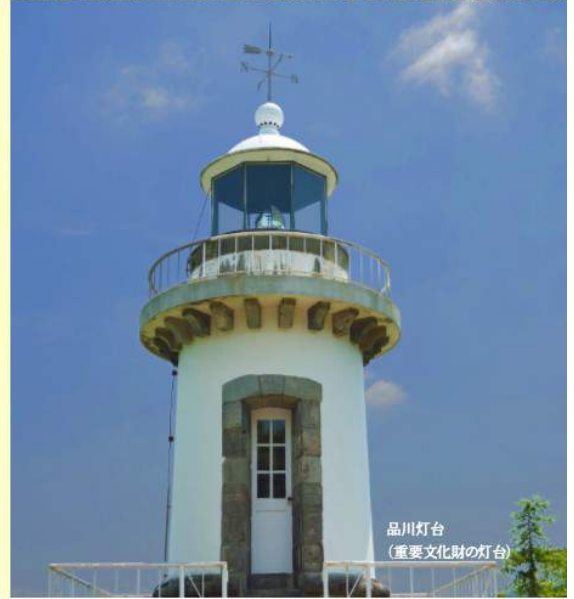


第18回  
明治丸  
シンポジウム

観音埼灯台  
(最初の洋式灯台で  
明治丸が寄った灯台)



官高灯台  
(最古の煉瓦造灯台で  
明治丸が寄った灯台)



品川灯台  
(重要文化財の灯台)

日時

令和元年7月15日(月/祝・海の日)

13:00~16:30

場所

東京海洋大学 越中島キャンパス  
越中島会館2階講堂

入場無料  
事前予約不要

## 第18回 明治丸シンポジウム

# 燈台巡廻を通じて 近代日本を支えた明治丸

令和元年7月15日(月/祝・海の日)

13:00 ~ 16:30

東京海洋大学 越中島会館2階講堂

明治丸は145年前に、燈台巡廻船として建造されました。

明治初期に、西洋の国からDark Seaと呼ばれていた日本近海において、航海の安全を保つための燈台は必要不可欠のものでした。その燈台を巡回しながら、保守点検と安全の維持を支えた明治丸は、重要な役割を果たしてきました。

今回の明治丸シンポジウムは、①明治丸の燈台巡廻の航跡 ②灯台の魅力と灯台守のいた時代 ③灯台の歴史と取り巻く変化 ④海難防止技術と燈台の役割 に光を当てて、燈台巡廻を通じて明治丸が担ってきた重責をあらためて見つめます。

## プログラム

司会：須永 淑子 (NPO法人 江東区の水辺に親しむ会)

12:30 開場

13:00 開会

開会挨拶：竹内 俊郎 (東京海洋大学長)

来賓挨拶：山崎 孝明 様 (江東区長)

来賓挨拶：高原 修司 様 (海上保安庁交通部長)

13:20 講演Ⅰ「明治丸の燈台巡廻の航跡」

庄司 邦昭 (東京海洋大学 名誉教授)

14:00 講演Ⅱ「灯台の魅力と灯台守のいた時代」

不動 まゆう 様 (「灯台どうだい？」編集長)

14:40 休憩

15:00 講演Ⅲ「灯台の歴史と取り巻く変化」

向井 大幸 様 (海上保安庁交通部企画課専門官)

15:40 講演Ⅳ「海難防止技術と燈台の役割」

國枝 佳明 (東京海洋大学教授)

16:20 閉会挨拶：庄司 るり (ミュージアム機構長)

16:30 閉会

(プログラムの内容等について一部変更することがありますのでご了承ください)

## 講演者のご紹介



### 庄司 邦昭さん (講演Ⅰ)

東京海洋大学 名誉教授

平成4 (1992)年 東京商船大学 教授

平成15 (2003)年 東京海洋大学 教授

平成23 (2011)年 東京海洋大学 名誉教授

元国土交通省運輸安全委員会委員



### 不動 まゆうさん (講演Ⅱ)

灯台専門フリーペーパー「灯台どうだい？」編集長。世界各地の灯台取材・発行している。灯台女子としてテレビ、ラジオ出演、新聞、雑誌の掲載多数。毎年「灯台フォーラム」を企画・運営。講演等で「灯台」や「フレネルレンズ」の文化的価値を訴え、「100年後の海にも美しい灯台とレンズを残す」ことを目指す。著書『灯台はそそる』(光文社)、『灯台に恋したらどうだい?』(洋泉社)



### 向井 大幸さん (講演Ⅲ)

海上保安庁交通部企画課専門官 (三等海上保安監)

平成元 (1989)年 海上保安学校灯台課程卒

平成26 (2014)年 第五管区海上保安本部交通部企画課長

平成27 (2015)年 第三管区海上保安本部交通部企画課長

平成30 (2018)年 海上保安庁交通部安全対策課 主任海上安全情報官

平成31 (2019)年 海上保安庁交通部企画課専門官



### 國枝 佳明さん (講演Ⅳ)

東京海洋大学教授

平成19 (2007)年 航海訓練所 練習船銀河丸船長

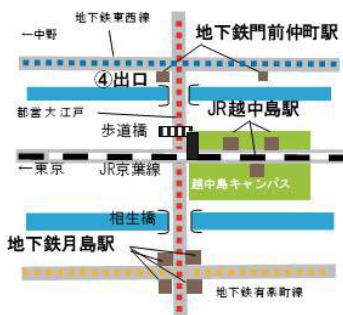
平成20 (2008)年 航海訓練所 練習船海王丸船長

平成24 (2012)年 航海訓練所 航海科長

平成26 (2014)年 東京海洋大学教授

平成31 (2019)年 明治丸海事ミュージアム館長

(明治丸シンポジウムは、明治丸海事ミュージアム事業の一環として実施するものです)



JR京葉線・武蔵野線 越中島駅から徒歩2分  
地下鉄東西線・大江戸線 門前仲町駅から徒歩10分  
地下鉄有楽町線・大江戸線 月島駅から徒歩10分

東京海洋大学 明治丸海事ミュージアム

〒135-8533 東京都江東区越中島2-1-6 TEL 03-5245-7360